

問題 6

情報システムの利用者対応のために導入したサービスデスクにおけるインシデントの受付や対応に関する記述のうち、最も適切なものはどれか。

- ア. 利用者からの障害連絡に対しては、解決方法が正式に決まるまで利用者へ情報提供を行わない。
- イ. 利用者からの障害連絡に対しては、障害の原因の究明ではなく、サービスの回復を主眼として対応する。
- ウ. 利用者からの問合せの受付は、利用者の組織の状況にかかわらず、電子メール、電話、FAX などのうち、いずれか一つの手段に統一する。
- エ. 利用者からの問合せは、すぐに解決できなかったものだけを記録する。

問題 7

IT サービスマネジメントのリリース管理では、変更管理によって計画し、許可されたものを本番環境に実装する作業を行う。リリース管理に関する記述として、適切なものはどれか。

- ア. 変更に関係のある利用者、運用管理者などには、リリース完了後に情報を提供すればよい。
- イ. リリース計画には、計画した時間内に作業を完了できない場合も想定する。
- ウ. リリース後は、新たな障害が発生する可能性はないので備えは不要である。
- エ. リリースの規模にかかわらず、リリースは全利用者に対して同時に実施する。

3. 3プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント（ファシリティマネジメント）

ア. 空調設備
イ. コンピュータ
ウ. 周辺装置
エ. データベース

ア. エコファーム
イ. 環境アセスメント
ウ. グリーン IT
エ. ゼロエミッション

- ア. 火災が発生した場合に需要 な機器が焼失しないようにする。
- イ. 事務室に設備されているノート型 PC の盗聴を防止する。
- ウ. 社外で使用するノート型 PC の画面の盗み見を防止する。
- エ. 停電が発生した場合でもシステムに代替電力を供給する。

ア. AVR イ. CVCF ウ. SPD エ. UPS

- ア. 情報システムの開発プロジェクトを成功させるために、スケジュール、予算、人的資源などを管理する。
- イ. 情報システムの障害監視やバックアップの取得などを管理する。
- ウ. 情報システムを稼働させているデータセンタなどの設備を管理する。
- エ. 情報システムを使用するためのユーザ ID とパスワードを管理する。

- ア. 携帯電話の予備バッテリーとして、携帯電話を長時間使用するために利用する。
- イ. コンピュータセンタで長時間の停電が発生した場合に、電力の供給を継続するために利用する。
- ウ. コンピュータに対して停電時に電力を一時的に供給したり、瞬間的な電圧低下の影響を防いだりするために利用する。
- エ. 電源のない野外でコンピュータを長時間使用するために利用する。

- ア. 重要情報資産のある室など、必要に応じて、建物の一部分を立ち入り制限区域とし、別途立ち入り資格を設定すること
- イ. 建物に、コンピュータビルであることがわかる看板を出すこと
- ウ. 点検結果によって、必要に応じて定期保守のほかに臨時保守を実施すること
- エ. 非権限者による入退社（室）試行記録を分析すること

3. 3 プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント（監査業務）

問題 1

監査に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア. 監査とは、内部での検証を目的として実施するものであり、結果は社外秘として公表しないものである。
- イ. 企業の監査とは、企業活動が決まられたルールどおりに適正に行われているかを監査／検査することである。
- ウ. 業務監査とは、企業における会計業務について行う監査のことである。
- エ. 内部監査とは、利害関係者や審査機関が主体となって行う監査のことである。

問題 2

情報システムの運用状況を監査する場合、システム監査人の要件を満たしている者として、適切なものはどれか。

- ア. 監査対象システムに関わっていない者
- イ. 監査対象システムの運用管理者
- ウ. 監査対象システムの運用担当者
- エ. 監査対象システムの運用を指導しているコンサルタント

問題 3

システム監査の実施に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア. 監査計画を立案することなく監査を実施する。
- イ. 監査の結果に基づいて改善指導を行うことはない。
- ウ. 監査報告書の作成に先立って、事実確認を行うことはない。
- エ. 本調査に先立って、予備調査を実施する。

問題 4

監査意見の根拠とするために収集されるものはどれか。

- ア. 監査証拠 イ. 監査証跡 ウ. 監査調書 エ. 監査報告書

問題 5

システム監査の実施内容に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア. ISO 9 0 0 1 に基づく品質マネジメントシステムを、品質管理責任者が構築し運営する。
- イ. 開発担当者が自ら開発したシステムの内容をテストする。
- ウ. 情報システムのリスクに対するコントロールが適切に整備・運用されているかを、監査対象から独立した第三者が評価する。
- エ. 専用のソフトウェアを使って、システム管理者がシステムのセキュリティホールを自ら検証する。

問題 6

システム監査人の職業倫理に照らしてふさわしくない行為はどれか。

- ア. 監査役による業務監査における指摘事項の確認
- イ. 成功報酬契約による監査
- ウ. 専門知識を持った他の監査人との共同監査
- エ. 前年実施した別の監査人による監査報告内容の確認

問題 7

会計システムに次のようなアクセスの記録を蓄積する確認があるとき、この蓄積された情報を利用して実施するシステム監査の目的として、適切なものはどれか。

入力されたユーザ ID とパスワードの組合せを、あらかじめ登録された内容と照合し、一致する場合は会計業務メニュー画面へ遷移し、一致しない場合はログインエラー画面へ遷移する。このとき、ユーザ ID、照合日時及び照合結果をアクセス記録として蓄積する。

- ア. システムの障害情報を記録していることを確認する。
- イ. システムの利用者に対する利便性を確認する。
- ウ. システム利用権限の運用の適切性を確認する。
- エ. 品質マネジメントシステムの要求事項への適合性を確認する。

3. 3 プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント（内部統制）

問題 1

内部統制の説明として、適切なものはどれか。

- ア. 業務の有効性及び効率性、財務報告の信頼性、法令遵守、資産の保全を達成するために、企業内のすべての者によって遂行されるプロセスのこと
- イ. 経営を委ねられている経営者などが、金融機関などから資金を調達して親会社の株主を買取り、経営権を取得すること
- ウ. 仕事と仕事から離れた個人の生活の両方について、どちらかが犠牲になることなく、それぞれをバランスよく充実させていこうという考え方のこと
- エ. 組織活動の目的を達成するための組織体の取組みであり、業務とシステムをともに最適化することを目指す手法のこと

問題 2

IT ガバナンスを説明したものはどれか。

- ア. IT 政策を所轄する府省庁
- イ. IT に関する利用者の満足度
- ウ. IT を適切に活用する組織能力
- エ. IT を利用した顧客管理の仕組み

問題 3

内部統制の機能・体制を構築するに当たって、仕事の役割分担や仕事の権限を明確にすることを何というか。

- ア. RCM イ. 職務分掌 ウ. 全般統制 エ. 内部監査

問題 4

内部統制が有効に機能しているかを継続的に評価するプロセスはどれか。

- ア. 暗号化対策 イ. 災害復旧対策
- ウ. ベンチマーキング エ. モニタリング

問題 5

IT 統制は、IT に係る全般統制や業務処理統制などに分類される。全般統制はそれぞれの業務処理統制が有効に機能する環境を保証する統制活動のことをいい、業務処理統制は業務を管理するシステムにおいて承認された業務が全て正確に処理、記録されることを確保するための統制活動のことをいう。統制活動に関する記述のうち、全般統制に当たるものはどれか。

- ア. 全社で共通に用いるシステム開発規模
- イ. 全社で共通に用いる人事システムの利用範囲の限定方法
- ウ. 全社で共通に用いる経理システムのマスタデータの維持管理方法
- エ. 全社で共通に用いる購買システムの入力エラーの修正手続

問題 6

構築された内部統制の整備状況を評価するために、リスクコントロールマトリクスを利用する。リスクコントロールマトリクスの利用に関する次の記述中の、a、bに入れる字句の適切な組合せはどれか。

リスクと

 を記述して、

 を評価する。

	a	b
ア	候補となる統制項目	統制項目の経済性
イ	候補となる統制項目	リスクの低減度
ウ	実施している統制項目	統制項目の経済性
エ	実施している統制項目	リスクの低減度

問題 7

内部統制の一環として、業務分掌と整合のとれたアクセス管理を実現することになった。情報システムの開発において、アクセス管理の検討を開始するプロセスとして、適切なものはどれか。

- ア. 要件定義

イ. プログラミング
- ウ. テスト

エ. 運用開始後